

自給基地大塚
丸男
日刊スポーツ
0120-81-4356



あさひふれんど千葉

平成27年 12月15日

発行所
㈱あさひふれんど千葉
〒290-0945 千葉県印旛郡栄町新堀船場2番6号
電話 043(284)0621
FAX 043(206)9533
Eメール asafurefure@ybb.ne.jp

【毎月1日・5日発行—朝日新聞の販売店からお届けします】

第817号

Ⅱ部 大森フライヤーズ会心のV

ほぼ全員安打の猛攻



Ⅱ部優勝大森フライヤーズ

3番川崎、4番小松 5打数4安打

千葉市少年軟式野球中央大会Ⅱ部は55チームが参加。打瀬ベイパスターズと大森フライヤーズのV争いとなったがフライヤーズが6長打、9単打を打ちまくり、大量15得点を挙げて優勝した。

◇準決勝

打瀬ベイ
バスター 5-3
花園ライ
オンズ

大森フラ
イヤーズ 3-4
今井ジュ
ニア
ベース

◇決勝

大森フライヤーズ(中央区)
00021001-315
0000021-315
打瀬ベイパスターズ(美浜区)
0000021-315

▽バッター—武藤陽人、川崎裕也、笹森太陽(大)川村悠真、染谷太翔、飯島一喜(打)

▽投手—川崎裕也2本、

武藤陽人、小松周平2本、桜本翔太(大)

フライヤーズは2投手の好投に加え、上下そろってムラのない打線が右へ左へ、中央へと打ちまくった。

3回表、9番大熊孝太を2塁に3番川崎が先制左越2塁打。4番小松のタイムリーで2点をあげたフライヤーズは4回、1番武藤が2点左越2塁打。5回は4番小松の2点左越2塁打で猛攻の口火を切った。1死後、6番桜本が右越2塁打、7番堀井大夢がレフトへ、2死後連続3四球で5点を加えなおも川崎、小松が連続2塁打など打者13人でこの回一挙10点。

7回にも川崎、小松、5番金子颯汰が3連打してタメ押しを追加点、主軸の川崎と小松は5打数4安打。うち2本

が長打だった。8番金成輝海は6、6回いいバツテンだった。打線が守備の正面を

ついて不運だった。ベイパスターズが本来の力を取り戻したのは終盤6回裏になって。先頭8番大沼俊介が中前打。9番飯島の2塁ゴロで2塁へ。バースポルで3塁を踏み、1番山口の遊ゴロで1点。2死から2番藤田知樹が安打。

3番染谷の四球でチャンス。4番前田尚輝の左前適時打で追加点。7回には先頭3番遠藤悠斗が1-1から中前打。7番川村が0-1から中前打。共に盗塁を決め、3塁として8番大沼の2塁ゴロで3点をあげたが反撃もここまで。エンジンの始動が遅すぎた。なお、ベイパスターズの初安打は6回5番保坂響の右前打。

3、4回戦の戦績は3面に

に。